

# 8.交通・観光分野

---

石川県の空港・港

# 分析データ

- 石川県統計書(1994年～2016年)
- 小松空港利用実績(1994年～2016年)
- 能登空港利用実績(1994年～2016年)

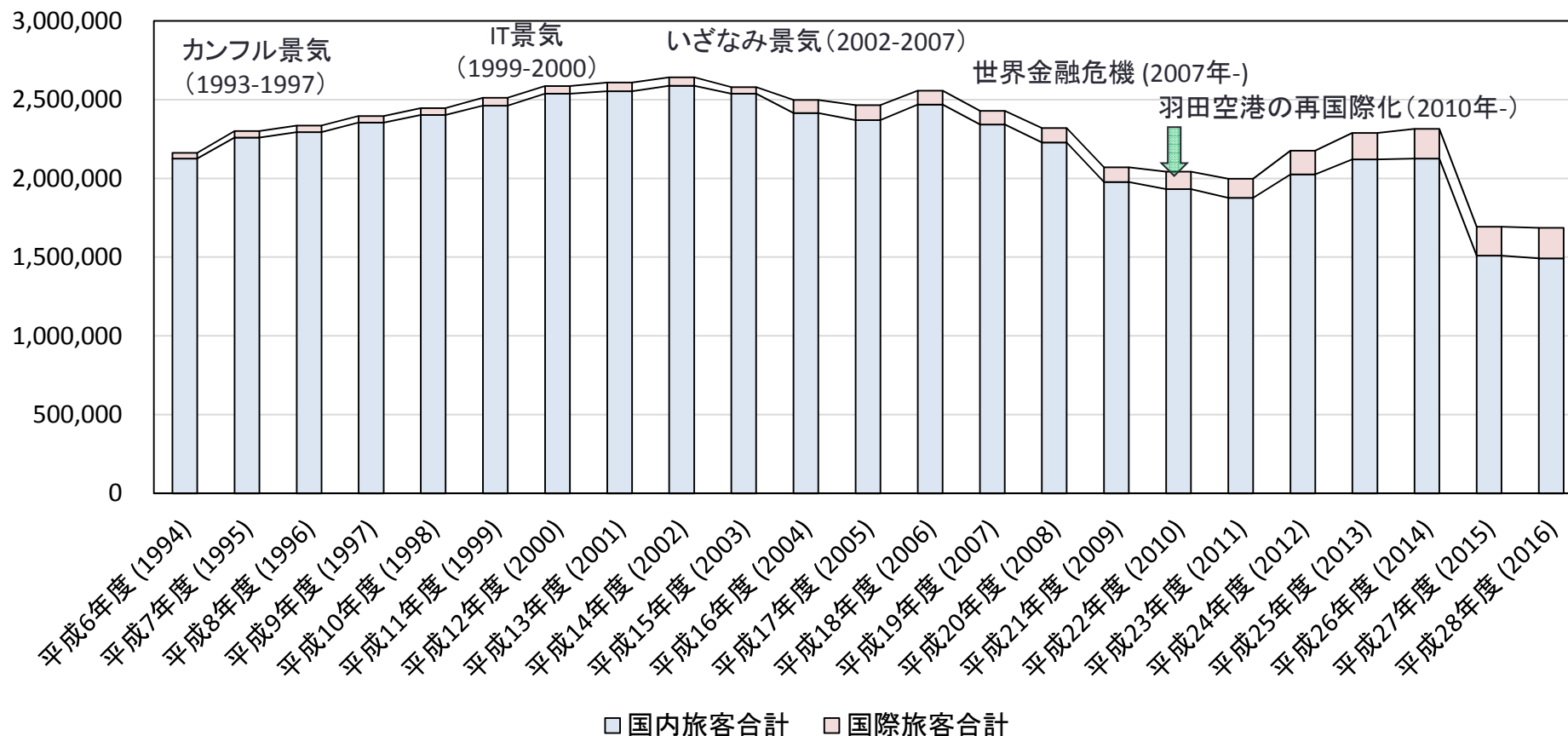
## 【参考URL】

- <http://toukei.pref.ishikawa.jp/search/kana.asp>

# 航空(小松空港・旅客)

(人)

小松空港利用状況:旅客

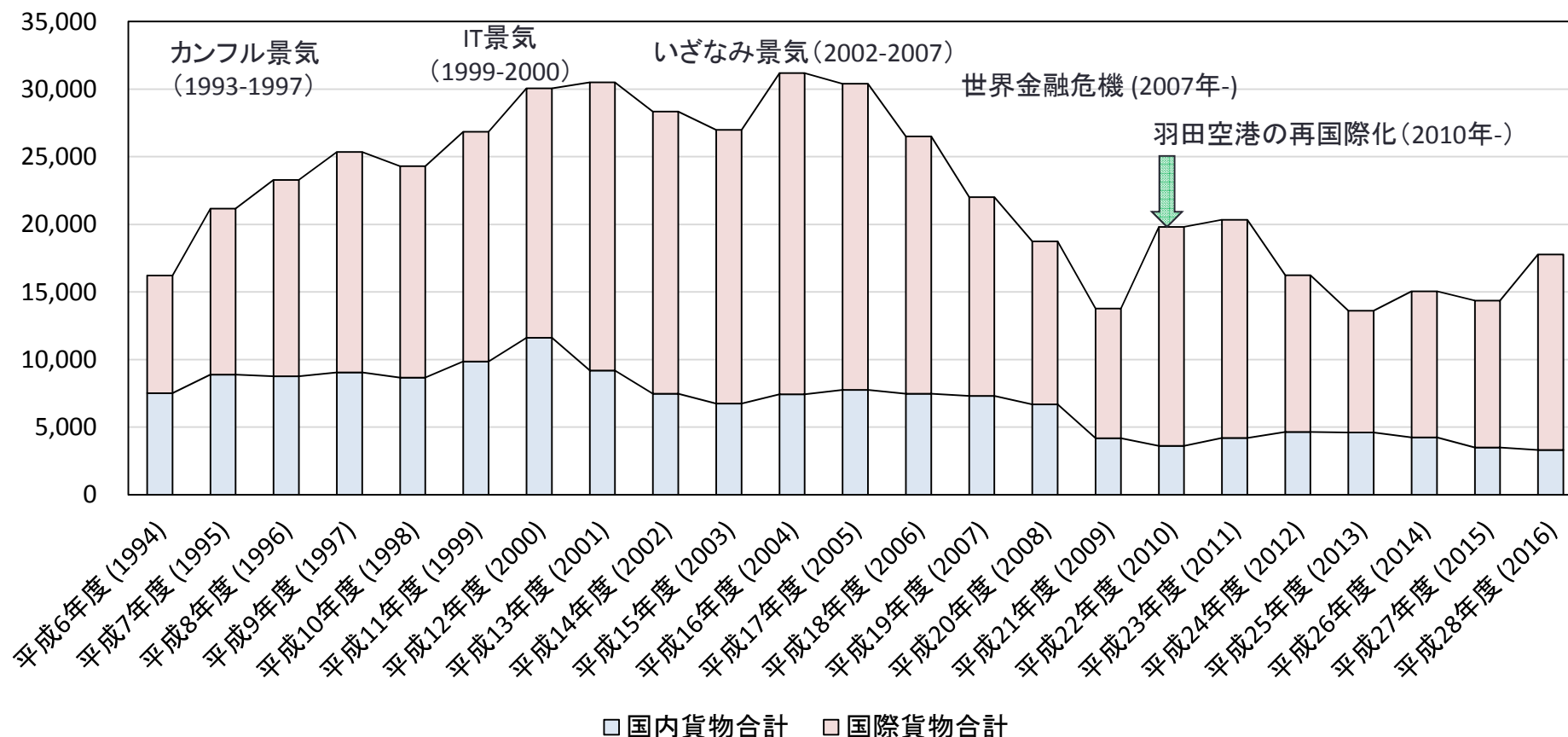


- 羽田空港の再国際化後は国際航空旅客が増加傾向(小松・羽田便の羽田乗り継ぎによる効果)
- アジアを中心とした定期路線の誘致の効果(上海・ソウル・台湾)
- 北陸新幹線開業後も一定の旅客数を保持(便数維持の効果がみられる)

# 航空(小松空港・貨物)

(トン)

小松空港利用状況: 貨物

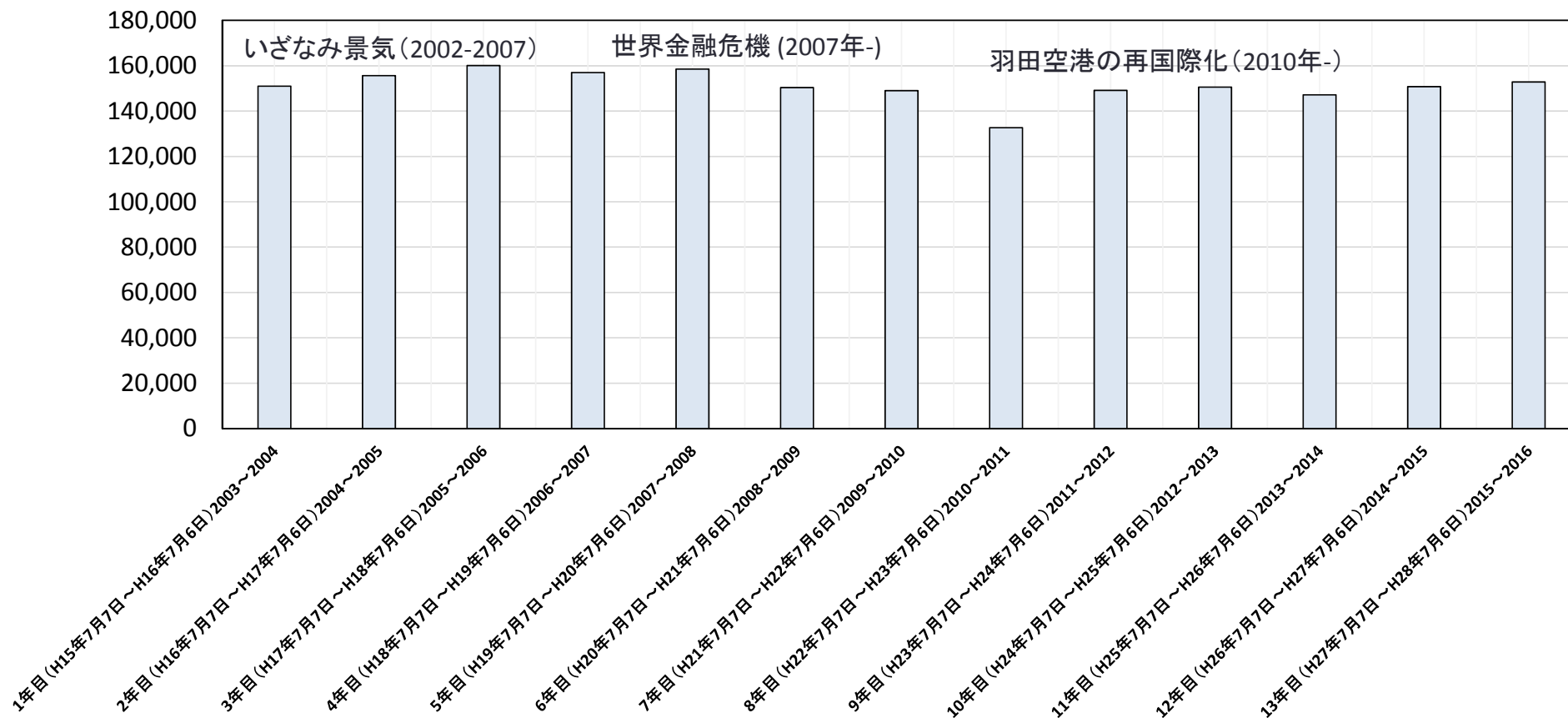


- 2004年以降減少傾向が続いたが、2010年以降は国際航空貨物は一定の水準を維持
- カーゴルックス航空(週4便), シルクウェイウエスト航空(週2便)による欧米・中東への国際航空貨物輸送が高頻度で行われている

# 航空(能登空港・旅客)

## 能登—羽田便 利用状況

(人)

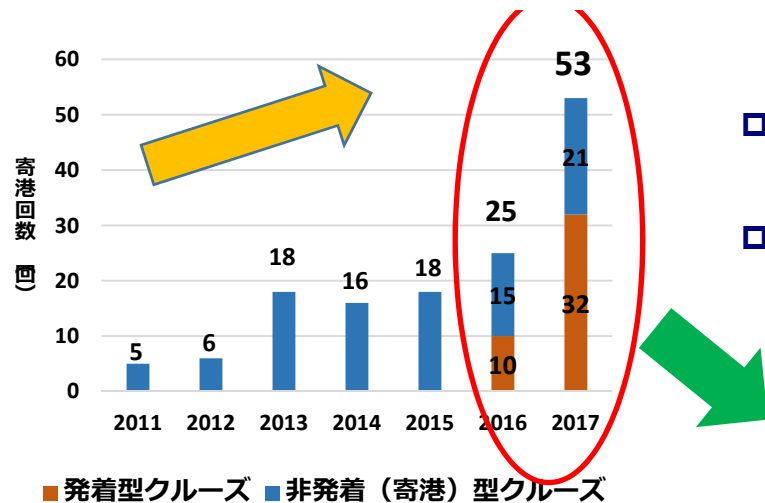


- 2003年以降安定した能登—羽田便の旅客数(需要・供給)を維持.
- 全国の地方空港の中でも, 安定した旅客需要を保持できている極めて珍しい事例. 能登空港の積極的な利用促進施策により地方と大都市間(東京)を結ぶ路線維持は極めて重要である.

# 金沢への寄港

積極的なクルーズ船誘致の効果が顕著

## 金沢港へのクルーズ船の寄港状況の変化



- 寄港回数は年々伸びており、2016年度から**発着型クルーズ**が開始
- 外国人（欧米・中国・韓国）の乗船するクルーズ船も多く寄港

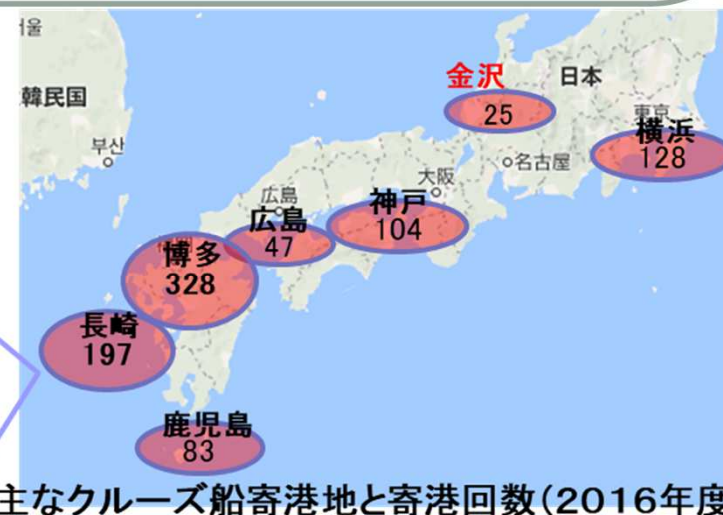
今後寄港が増え、クルーズ船を通して様々な形で観光客が訪れる

金沢港におけるクルーズ船寄港回数の推移<sup>3)</sup>

## 金沢港の注目度が高い

- 水深の大きな埠頭の数が多く、大型船受け入れ能力が高い
- 後背圏（金沢市内）には豊富な観光資源、買い物施設
- 日本海側にはクルーズ船が多く寄港する港湾が少ない
- 金沢港クルーズウェルカムクラブによりクルーズ船の出航イベント（加賀友禅大使のお出迎え・よさこい・ジャズ演奏等）の協力

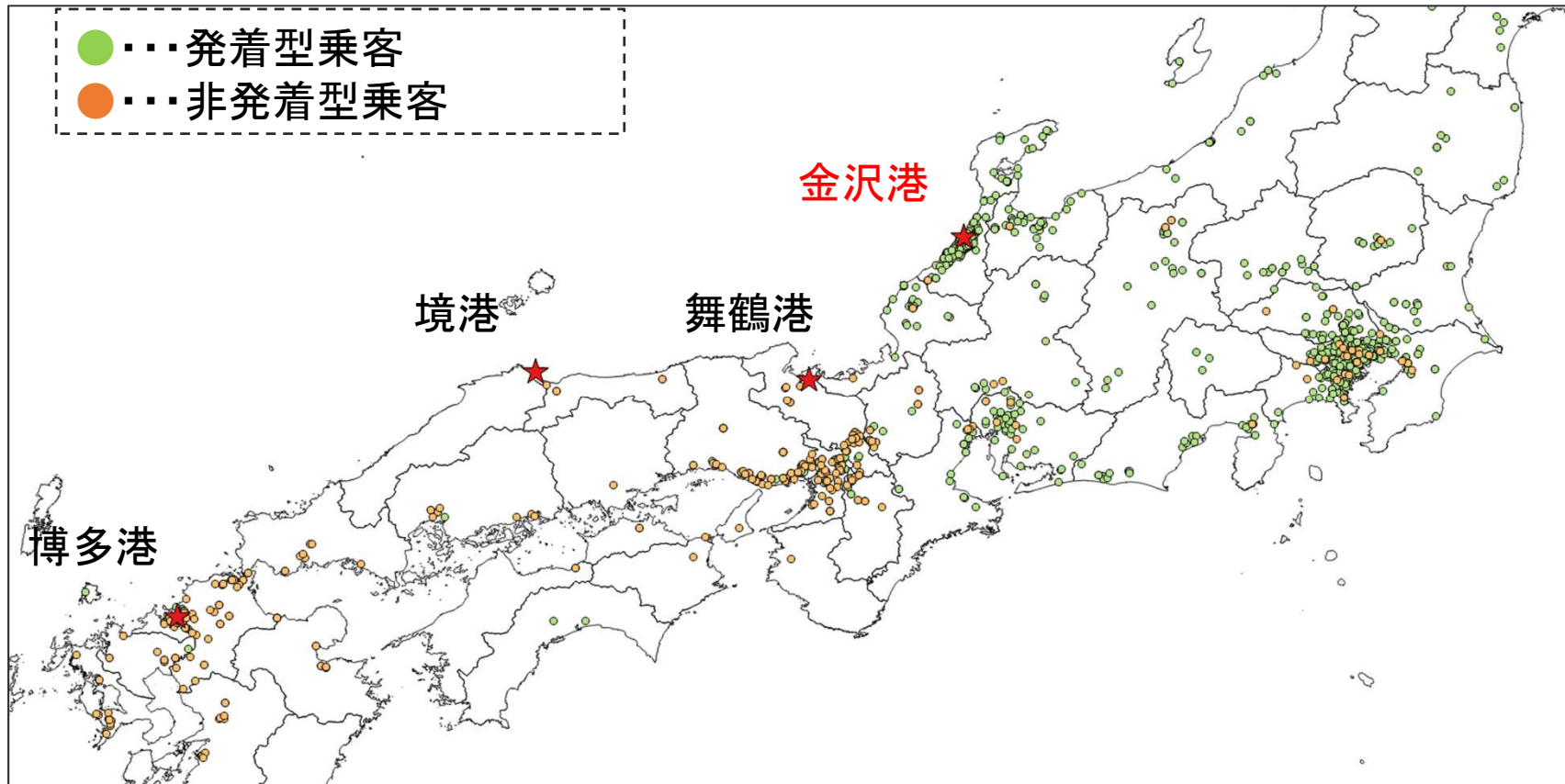
⇒ 金沢港は注目度が高く、周辺地域全体でクルーズ寄港誘致



主なクルーズ船寄港地と寄港回数(2016年度)<sup>2)</sup>

# クルーズ旅客の居住地

アンケート調査で取得した郵便番号



発着型乗客⇒北陸3県や関東地方(⇒北陸新幹線開業による影響?)を中心として東日本で多い

非発着型乗客⇒博多港付近, 神戸・大阪付近で多い(航路の寄港地に依存)